

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

				課名	農業課	事業No.	174	
				会計	一般会計			
事務事業名				強い園芸産地育成事業	事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H27	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画			地域経済活性化プログラム				
				農業振興ビジョン				
	法令・例規等							
事業目的		対象	果樹、野菜、花卉等の生産農家					
		意図	生産体制の強化					

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	農作業の省力化や効率化並びに生産性の向上を図るため野菜の雨よけ施設やその他の農業施設の整備を支援しました。また、野菜、果樹、花卉の推奨品目の苗木の導入を支援するとともに、安定的な農作物の生産に繋がるよう、土壌診断を支援しました。			県茶振興協議会負担金				59			
	市田柿の産地基盤を強化するため、加工設備等の整備・導入を支援しました。また、規模拡大を目指す生産者5名を新たに特認生産者として認定するとともに、目標達成者(出荷量2t以上かつ栽培面積20a以上)2名を中核的生産者として位置付けました。			果樹、野菜、花卉等生産振興補助金				11,383			
	また、長野県茶振興協議会に対する支援を行いました。			市田柿生産振興補助金				8,357			
				花卉品評会褒賞費				11			
				その他の経費				0			
	活動指標	指標名(数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
野菜・花卉苗木導入本数		本	18,500	11,052	18,500	17,492	14,000	10,815			
果樹苗木導入本数(市田柿含む)		本	3,500	4,908	3,500	2,880	5,000	2,550			
果樹・野菜等生産基盤整備件数		件	10	14	10	20	17	20			
市田柿加工設備整備件数		件	100	105	100	142	92	93			
市田柿特認生産者・中核的生産者数		人	55	55	65	60	55	64			
土壌診断件数		件	500	551	500	432	500	549			
1年度決算(千円)	予算額		22,012	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		19,810	(県)園芸特産振興事業補助金(1/2)							
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		10,000							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		9,810									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	40	1	12,371	11,453	果樹・野菜等振興事業費
2	1	6	1	4	40	2	9,641	8,357	市田柿振興事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		農家の減少、農業従事者の高齢化が進む中、果樹・野菜・花き等の園芸品目の産地として維持していくためには、省力化や効率化により農業の労働生産性を高めるとともに、消費者ニーズを捉えた品種の導入を進めていく必要があります。市田柿は、GI産品として品質を高めていく必要があります。また、園芸産地として維持していくためには、生産農家の育成にも取り組む必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		労働生産性を高めていくためには、生産団体と連携して新技術の導入や、将来を見据えた省力栽培技術の研究を進めるとともに、省力化、効率化を図るための施設整備等を支援する必要があります。市田柿については、特認生産者制度により中核となる生産者の育成、品質向上を図るためには、加工設備等を支援する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		産地強化に向けて、省力化、効率化につながる施設整備、新品種の導入を支援していきます。市田柿の特認生産者制度により、中核となる生産者の育成とともに、加工設備等の導入を支援します。また、夏場のハウス高温対策、果樹Y字仕立やジョイント栽培は、農業振興センタープロジェクト事業として研究を進めていきます。							